

一般財団法人川崎新都心街づくり財団平成 27 年度事業報告

期間：平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

I. 総合報告

二度目の開催となった「しんゆりマルシェ」は、新たな商店街の参加を伴って拡大開催することができた。これは行政、大学及び大学生、地域の公共機関、地域団体、区民等多くの方が労を惜しむことなく協力していただいた結果が反映したものと思える。また、この結果が来場者増加に結び付き、多くの市民の方々に喜んでもらえたものと思える。TM 計画を進めるうえで、有効活用できる手段であることが感じられ、街に日常的になると街の発信力（PR）が増大するものと思われる。

また、他の活動事業についても計画通りに進められたので達成したものと思える。

II. 事業内容

1 市民交流事業

1) 街づくりに関する資料の収集・提供・援助

新百合ヶ丘周辺の写真のまとめ

当財団の保有する新百合ヶ丘周辺の航空写真や協力会社保有の航空写真をデジタル化し、当地区の移り変わりを気軽に見られるように進めている。

2) 街づくりに必要な環境整備に関する活動

a) 市民団体への協力

会議室の貸出し：23 回

b) ホームページの活用 (<http://www.kncf.net/>)

UP回数：3 回

c) 麻生アシストクラブ

アシストクラブ主催の下記行事にスタッフとして参加する。

フロンターレ戦応援（等々力 10/4）、青玄まつり 11/1、監督選手激励会 2/22、役員会 10 回。

3) 新百合ヶ丘ポータルサイトの研究

「新百合ヶ丘ポータルサイト」については情報収集に多くの課題があることが分かる。「しんゆりマルシェ」については、作業状況や応募情報をタイムリーに公開することができたので、大いに役立ったものと思える。

2 調査研究事業

1) 地域の歴史と文化に関する資料の収集および編纂

麻生区の発掘調査

「特集 市制 90 年・戦後 70 年 私と川崎」文化かわさき第 36 号：
川崎市総合文化団体連絡会

戦後初期の頃から平成に移り変わる川崎の各地域の状況をまとめた

特集本となっており、川崎市の歴史を研究するうえでは参考になる。

2) 中心街地を活性化する地域運営のあり方

a) 新百合ヶ丘地域活性化TM計画研究会開催

目的：新百合ヶ丘地域の街づくりを推進するタウンマネジメント（TM）地域に根付いた組織の設立を目指す。

構成委員：財団役員、東京都市大平本名誉教授、駒沢女子大学太田教授、昭和音大武濤教授、日本映画大学石坂教授、東海大学加藤教授、田園調布学園大学山崎教授、東京都市大末繁講師、(株)エリアブレイン

活動実績：2つの催しを行う。

9/7 大学生交流会

下記催物を実施するにあたり、参加大学の内容を知り意見交換・交流の場を設け、一致協力して目的達成のための意思疎通化を図った。

10/23「しんゆりマルシェ 2015」において下記の活動を行った。

東京都市大学：・街を活性化するイベント企画と運営

- ・パラソルアートによる子供表現力の育成
- ・大学生によるコンシェルジュ衣装作成及び案内
- ・PR用会場MAP・パンフレットデザイン
- ・街のお店地図の作成

専修大学：・会場の資源分別ごみ箱の作成及び当日の管理・整頓

- ・オリーブオイルのマーケティング調査

駒沢女子大学：素焼きの皿に子供による絵付けを窯焼きし、後日渡し

昭和音学大学：幅広いジャンルでの生演奏

日本映画大学：・卒業制作作品のビデオ上映会

- ・学生が育成した農産物の販売

田園調布学園大学：・ハロウィングッズの作成

- ・子供に対する職業体験「ミニたま縁日」の紹介
- ・ゲートボウリングでアートを作成
- ・ストリートダンス

東海大学：来場者調査

明治大学：大学生×地域団体による地域連携プロジェクトの紹介（菜種油のスイーツなど）

和光大学：はり金を利用したおもちゃづくり

b) 「しんゆりマルシェ」の開催（平成27年10月24日）

多年齢層の方が集い、交わり、一日を楽しく過ごせる場所を提供することができた。来場者34,000名。詳細はHP[しんゆりマルシェ]で参照のこと。

(1) オープン開場での催事

会場は住宅展示場の第1会場、ゆりてらす・リリエン又通りの第2会場、そしてマプレ商店街の第3会場で行い、出し物は以下の通り。

- ・アート&クラフト40店舗
- ・農産物関連29店舗

- ・ワークショップ&展示28店舗
- ・キッチン関連19店舗
- ・パフォーマンス関連17団体
- ・ゆるキャラ3体

(2) アフターフェスタ（ホテルモリノ会場）

サクラアワード受賞の「世界のワイン100種類の試飲会」を、大学生による企画運営で進めた。115名が参加した。大学生は、ワンデー・ソムリエとして専門家による事前指導・訓練によって参加者にワインをサービスした。

(3) 街歩き美味しいツアー

当周辺には他地域と比較して美味しい個店が数多くあるが、知られていないことが多い。しんゆりのイメージUPを図る目的で、個店紹介の表題ツアーを大学生企画で実施した。

リリエンベルグ、田園ポテト、しょうが、シェゆりの
12名参加（区内7、区外1、他市4）

参加意見等を「しんゆりポータルサイト」で紹介予定。

(4) 街の魅力紹介

マルシェに参加する当地区の店や個性的な店を大学生が訪問し、独自の特徴・魅力・それを生み出す努力や当街への期待等についてインタビューを行い、マルシェHP上にUPした。

3) 麻生らくがき消し隊への参画

- ・消去実績：新百合ヶ丘駅及び百合ヶ丘周辺2回、打合せ4回
- ・根気よい活動の結果、落書きの箇所および規模が減少した。
- ・3/24 川崎市より実績を評価され、表彰を受ける。

3 イベント事業(文化活動)

1) KAWASAKI しんゆり映画祭実行委員会への支援

- ・開催期間 平成27年11月3日～11月8日
- ・財団提供ドキュメンタリー映画

「物置のピアノ南風」 監督 似内千晶

映画の中に昭和音学大学が登場し、麻生区在住の俳優平田満氏が主人公の父親役として登場。現日本映画大学出身の俳優長谷川初範氏も登場する。更に監督、企画制作、原作がしんゆりから育った人によって生まれた作品。

内容は、福島の小さな田舎町で桃農家を営む家族の物語。物置にしまわれていたピアノをきっかけに震災後の福島で生きる人々の祈り、そして希望の光と変わる。

2) 主催事業

シニア向けワークショップ「役を演じて非日常体験」

人前でせりふを言うことを出発として臆する気持ちを開放し、生きがいのある生活を楽しむことを目的とする。今回は登場人物の異なる短い台本を使用し、その場に生まれる関係性の違いを楽しむ。参加者20名

単発講座：H28/2/4日 「二人芝居」

内容：二人で台本から感じた場面を想定して演じる。

- ： H 2 8 / 2 / 1 8 日 「三人芝居」
内 容：三人で単独と組みの状況での台本表現を楽しむ。
： H 2 8 / 2 / 2 5 日 「四人芝居」
内 容：単独、2対2、3対1に分かれての演技・セリフの変化
を楽しむ。

〈結果〉過去に受講した講座経験者が多いためか、講師の指示がよく通り、講座内での「変化」が起きやすかった。参加者にとっては多くの発見があった。

3) 共催・後援活動

- 新百合イルミネーション（Kirara@アートしんゆり 2015）への協力
- ・期間 平成 27 年 11 月 14 日（土）～平成 28 年 2 月 14 日（日）
 - ・イベント 点灯、クリスマス、消灯イベントを行う。
 - ・協賛協力金 740 万円（92 社・団・個）、新方式としてクラウドファンディングを利用する。
 - ・財団事業は、点灯式イベントの提供を行った。

Ⅲ協議会、委員会などへの協力

- 1) 川崎新都心街づくり推進協議会
 - ・川崎市より開催要請なし。
- 2) 特定景観地区及び景観形成協議会（まちづくり局景観・まちづくり支援課）3回開催
 - ・新百合ヶ丘 C・D 区域の状況（のぼり旗、窓辺広告等）を調査した。
 - ・景観基準を認識していない様子。周知活動が必要との方向で会の方針が決まる。
 - ・次年度に周知を図った上で、基準の検討図る予定。
- 3) しんゆり芸術祭（アルテリッカ）への参加
平成 27 年 4 月下旬～5 月上旬に開催されたアルテリッカしんゆり 2015 に実行委員および当日運営委員として参加。
- 4) 川崎市アートセンターに関する協力
運営協議会委員として参加 1 回
- 5) 麻生区暴力団等排除活動推進協議会 1 回（麻生警察）
暴力団の活動状況および遭遇した場合の対応策等についての講演に参加。
- 6) 麻生防犯協会 1 回
総会および研修視察に参加
- 7) 麻生観光協会（1 回／月）
理事として当協会の企画・運営に参加。

主業務として麻生観光ガイドブック「麻生の魅力」の発行に携わる。

- 8) 麻生アシストクラブに参画（川崎市のまちづくりの一環としてできた団体）
青玄まつり、監督選手激励会、ホーム・アウェイ戦のイベントに協力した。
 - 9) 区民会議に参画（第5期）
 - ・活動テーマ：27年度の活動テーマは、「若い世代が住みやすいまちづくり部会」、「市民活動・地域活動の活性化部会」に決まり、当方選出の委員は前者に所属する。2年間の活動期間で、「若い世代がすみやすいまちづくり」として解決策を検討することになる。
 - ・活動結果：麻生区は「若い世代が住みやすいまち」としての魅力にあふれていること、空家活用も大学や事業者等が様々な取組を進められていることが判明した。一方で、これらのPR活動や空家利用の地元の理解が必要であると思われる。
 - ・これらのことから、3つの方向性と、4つの提言に取りまとめた。
 - (1) 魅力に関する団体の連携
提言1 区と協働した組織体制をつくり、「区民会議」の活用や「(仮)麻生魅力PR委員会」の設置。
 - (2) 魅力の情報発信
提言2 PR方法として「麻生区HPの改善」「(仮)シティセールス・PR部門」の設置。
提言3 麻生の魅力ブランド化とPR用「キャッチフレーズ」の活用
 - (3) 空家の利活用
提言4 地域ぐるみの仕組みとして「空家ネットワークの構築」。
- 詳細については、麻生区より冊子発行予定。

IV 賛助会費活動

- ・会費納入金額：9,694円
- ・新百合イルミネーション等に当該費用を使用した。

V 財団の事務報告・方針

理事会3回、評議員会1回、合同懇談会1回開催した。

以上